

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 ZOA
 コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊井 一史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松森 建次
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 055-922-1975

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,437	7.2	92	96.2	88	105.0	54	147.0
25年3月期第3四半期	8,800	△4.2	47	△36.9	43	△48.4	22	△42.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.36	—
25年3月期第3四半期	10.64	—

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	5,579	2,028	36.4	973.96
25年3月期	4,848	2,015	41.6	967.59

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 2,028百万円 25年3月期 2,015百万円

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	7.6	118	54.1	114	57.5	70	64.8	33.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	2,296,500 株	25年3月期	2,296,500 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	213,500 株	25年3月期	213,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	2,083,000 株	25年3月期3Q	2,090,397 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であり、

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日本銀行による経済対策や金融緩和政策を背景とした株価上昇や円安の進行により、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、個人消費については所得の伸び悩みや物価上昇傾向に伴う家計負担増加への懸念等を背景に大幅な改善は見られませんでした。

パソコン業界においては、電子情報技術産業協会(JEITA)の発表によると、パソコンの国内出荷台数は前年同期比0.5%、出荷金額は5.8%の増加となりました。

バイク業界においては、日本自動車工業会(JAMA)の統計によると、二輪車の国内出荷台数は前年に比べてわずかに増加しております。

このような状況下で当社は、パソコン事業においては、WindowsXP買い替え需要を確実に獲得するために、最新OSのWindows8のみならず、いまだにニーズの高い前OSのWindows7を搭載したパソコン本体の在庫を確保することでお客様のニーズに合った商品提供に努めてまいりました。また、サポート面でも会員制ZOA倶楽部の加入者向けに、データ移行や不要なパソコンの引き取りをセットで提供するサービス「XP買い替えパック」を展開し、買い替えの促進を図ってまいりました。その結果、パソコン事業全体の売上高は前年同期比1.4%の増加となりました。

バイク事業においては、ジャケット・ヘルメットの品揃えの充実と、カーナビの取り扱いメーカー拡大により売上高は増加傾向にあります。その他、海外製のバイク用バッテリーを格安で展開することで、お客様に好評を得ております。今後も、お客様のニーズに適した品揃えの強化を図り、安定した売上の拡大に取り組んでまいります。その結果、バイク事業全体の売上高は前年同期比8.3%の増加となりました。

インターネット通信販売事業においては、仕入交渉の強化によりパソコン本体や一眼レフデジカメ等の魅力ある商品の調達を行うことができ、売上高は好調に推移しております。その他、カー用品の取り扱いも新たに開始しました。お客様には好評で、徐々に売上高を伸ばしております。その結果、インターネット通信販売事業の売上高は前年同期比24.7%の増加となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績については、売上高9,437,284千円(前年同期比7.2%増)、経常利益88,793千円(前年同期比105.0%増)、四半期純利益54,917千円(前年同期比147.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末に比べて730,538千円増加し、5,579,202千円となりました。その主たる要因は、商品が752,910千円、売掛金が26,364千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債については、前期末に比べて717,281千円増加し、3,550,448千円となりました。その主たる要因は、買掛金が655,731千円、短期借入金100,000千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産については、前期末に比べて13,257千円増加し、2,028,753千円となりました。この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は36.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、平成26年1月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通り業績予想を修正いたしましたので、内容につきましてはそちらをご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,177,692	1,156,587
売掛金	406,990	433,355
商品	1,807,900	2,560,811
その他	145,401	159,576
貸倒引当金	△4,056	△4,319
流動資産合計	3,533,929	4,306,012
固定資産		
有形固定資産		
土地	654,403	654,403
その他(純額)	280,573	266,427
有形固定資産合計	934,976	920,831
無形固定資産		
投資その他の資産	13,062	13,564
その他	368,574	340,672
貸倒引当金	△1,879	△1,879
投資その他の資産合計	366,695	338,793
固定資産合計	1,314,734	1,273,189
資産合計	4,848,663	5,579,202
負債の部		
流動負債		
買掛金	825,636	1,481,367
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	650,360	443,661
未払法人税等	6,669	36,267
賞与引当金	35,106	14,426
ポイント引当金	14,271	9,738
その他	160,670	138,651
流動負債合計	1,692,714	2,224,112
固定負債		
長期借入金	1,023,823	1,225,275
長期未払金	24,249	8,916
退職給付引当金	92,380	92,145
固定負債合計	1,140,452	1,326,336
負債合計	2,833,167	3,550,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	1,506,743	1,520,000
自己株式	△146,987	△146,987
株主資本合計	2,015,496	2,028,753
純資産合計	2,015,496	2,028,753
負債純資産合計	4,848,663	5,579,202

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,800,278	9,437,284
売上原価	7,449,557	8,032,784
売上総利益	1,350,721	1,404,499
販売費及び一般管理費	1,303,696	1,312,248
営業利益	47,024	92,250
営業外収益		
受取手数料	9,637	9,094
受取保険金	99	675
その他	209	342
営業外収益合計	9,946	10,112
営業外費用		
支払利息	13,249	12,945
その他	398	623
営業外費用合計	13,648	13,569
経常利益	43,323	88,793
税引前四半期純利益	43,323	88,793
法人税等	21,087	33,876
四半期純利益	22,235	54,917

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。